


若者の「関係人口」をどのように増やすのか？

— 「オンライン関係人口」という1つの可能性 —




ハピキラFACTORY 正能茉優

2019年6月11日



**長野県小布施町における
新事業創出プログラム「まるん大学」**



移住でも、観光でもない形で、
どのように、まちと関わっていけるのか？

課題の1つは、
「移動時間」と「交通費」。

まちに行かずに、まちと関わる「オンライン関係人口」

LINE

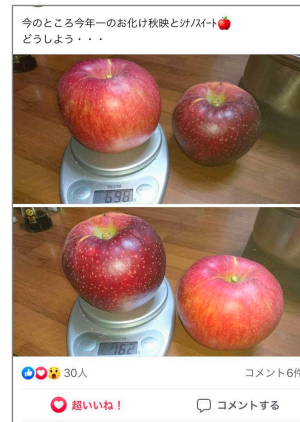
(チャット形式の連絡ツール)



「先日植えたお芋、
こんな感じで育っています！」
「次のパンフレットのデザイン、
こんな感じでいかがでしょうか？」

FacebookやInstagram

(写真等をシェアできるSNS)



「田中さんの今年のリンゴ、
こんな大きいのがとれているんだ」
「今週末、まちで
こんなイベントあるんだ！」


Instagram ストーリー機能

(24時間限定でシェアできる機能)



「玉木さん、きょうのランチ
ラーメン食べてる！」
「本間さん、今年の桃、
きょう初収穫だったんだ！」

まちに行けない中でも、まちのひと・しごと・イベントを知って、
オンラインでご近所づきあいができる！



まちに行って、まちと関わる「リアル関係人口」
まちに行かずに、まちと関わる「オンライン関係人口」



行かなくても、知れる。仲良くなれる。
だから、もっと行きたくなる。